

## 七尾城山みち No. 5

2006. 8.

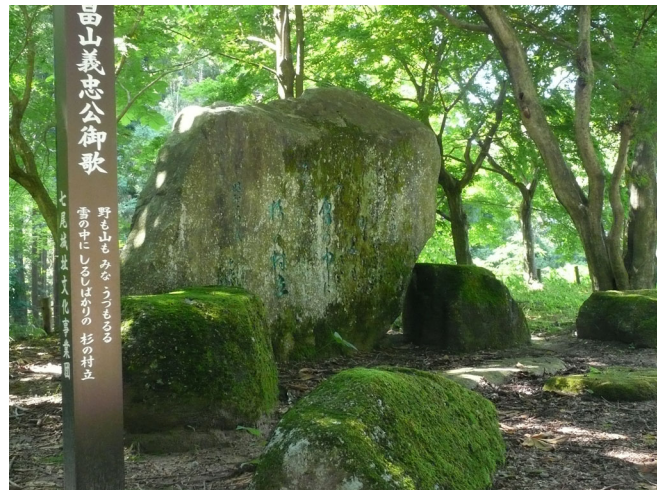
「七尾城山を愛する会」ガイド

### 本丸周辺

本丸駐車場から木屑（チップ）を敷いた道をしばらく歩くと石垣が目に入る。調度丸を巻いた形でその道は続く。旧道との交差点を過ぎて石段を上る。その石段を一段上がると桜馬場、遊佐屋敷跡の入り口である。左に折れ曲がって石垣沿いに段上ると本丸跡に達する。また、遊佐屋敷跡の石垣沿いに歩き、左に折れ曲がって山道沿いに上がっても本丸跡に着く。本丸跡からは南に奥能登で一番高い石動山（565.6m）を臨み、北に唐松や杉の木々の間に七尾の市街地を隔てて能登島、穴水辺りを見ることができる。

本丸駐車場の桜はソメイヨシノで数十年の間北風と雪に耐えてきました。しかし、雪の重さに何度も折れてきました。毎年、矢田郷公民館主催の「花見の会」が「城山開山祭」とともに催されています。春にはサクラ、キクザキイチリンソウ、そして紫と黄色のケマンソウがきれいです。また、駐車場より一段高い園地には地藏が安置されています。『七尾城山を愛する会』の前会長の西川順道さんが周辺の地藏をこの場所に安置したものです。

今でも毎日欠かさずお参りにきて折られる方が多いです。畠山義忠の歌を刻んだ大きな石碑が末裔の畠山清秀さんが寄贈されました。



### 城山を歩く楽しみを

城山の川沿いや山道をいろいろ歩いていると崩れ落ちた石垣、誰かが歩きながら付けた目印、炭焼きの窯跡、地層の様子や草花などが迎えてくれる。こうして遠い昔の武士の生活や山仕事に勤しんでいた人々などにも思いを馳せながら歩いているうちに植物や周辺の変化にもかなり敏感になり、その結果として『今 城山は』は生まれた。地図と照らしては川筋や尾根を歩いた。テンやキツネ、リスにも出会った。犬に追われるウサギのジャンプの高さにも驚いたし、赤トンボの大群にも驚らかされた。



歴史と自然の残る城山を里山として四季を通じて皆さんも楽しんでほしい。